

モンゴル発行の“消防”切手6種

平岩道夫(切手評論家)



写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥

今月は“消防”をテーマにした珍しい6種の外国切手を、紹介してみよう。

切手を発行したのは、モンゴル人民共和国だ。モンゴルといっても、正直なところ日本人にはちょっぴりなじみが少ないようだが、人口は約200万人。首都はウランバートルである。

さて6種の“消防切手”の図案を眺めてみると――

写真①＝伝統的なモンゴルの民族衣裳を身につけ、バケツに似たオケで消火リレー中の様子を描いた切手。必死になって水を送っている状態がよくわかる動きのある図案が好評。

写真②＝モンゴルでは、いまでも2頭立

て馬車が消火活動に活躍している。いまの日本では考えられないのどかな風景？

写真③＝森林火災で活躍する最新型の化学消防自動車。

写真④＝これまた近代的な設備を誇るモンゴルの消防自動車。

写真⑤＝日本と比べて、まだまだ高層建築物が少ないモンゴル――とはいえ、この切手のように、ハシゴ車も必要ということになる。あれば便利といったところか……。

写真⑥＝手におえない森林火災や、船の火災には、ヘリコプターも出動し、空中から消火活動を行っているということを、この一枚の切手が如実に物語っている。

それにしてもユニークな切手だ。